

ここが聞きたい 一般質問

紙面の都合で発言を要約して掲載しています。

伊藤 正子 議員



問 町の人口増対策と事業について

答 若い人に住んでもらえる生活環境整備へ

問 町の人口減に適応した地域づくりが求められ、地域の活力を保つには行政・学校などの町の機能集約が求められている。小さな町だからできる人口増対策と事業は。

町民税務課長 少子化対策事業として、医療福祉費助成は前年度7,797件、不妊治療に対する助成は本年度2月末で7件。「第3子」以降を対象とした「就学祝金」は今年度12人に交付した。五霞町結婚支援事業を通じた婚姻が1件報告されている。結婚相談・お見合いの設定など支援を求める方にきめ細かい対応をしている。

生活安全課長 町内の空き家戸数84戸。平成29年においては県から専門家(弁護士・司法書士・宅建士・建築士など)を町に派遣していただき、空き家の利活用・除却・相続・売却など所有者からのあらゆる相談に対応する空き家相談会を開催していきたいと考えている。

町長 住民の希望でもある商業施設の誘致、町の活性化、若い世代に住んでもらえるような生活環境の整備について、スピード感を持って推進していきたいと考えている。



問 国民健康保険制度の現状について

答 健康で長生きできるような対策を推進



問 医療費は医療の高度化と加入者の高齢化などにより増え続けている。保険制度維持のため①「国保」の加入世帯②1人あたり年間保険税③「特定健診」受診者数④ジェネリック医薬品利用状況は。

町民税務課長 ①1,475世帯。65歳から74歳まで1,059人、加入者全体の39.4%で「国保」の高齢者の加入割合というのは極めて高い。②本年度見込は10万180円。加入者の所得に対して負担感は重い。③受診者706名、受診率35.4%。県平均より上位。④本年度10月診療の利用割合

70%。保険者の負担だけでなく被保険者(患者さん)自身の自己負担も軽減するという事で普及啓発を続けている。

町長 住民の皆さんが健康で長生きできるような対策が必要だと考えている。結果的に医療費・介護給付費抑制に結びついていくものと思うので、今後もしっかりと取組んでいきたい。